

場面一のかげおくり

名前

三年 組 番

めあて

家族四人の気持ちを考えてよう

いつ

しゅっせいする前の日

登場人物

ちいちゃん お兄ちゃん
お母さん お父さん

したこと

- ① 先そのはかまいり
- ② かげおくり

◎なぜ、先ぞのはかまいりに行ったのでしょうか。
お父さんがせんそうに行ってしまうから、先ぞにおいさつを
しに行った。

●かげおくり

・お兄ちゃんの様子

よるこんでいる。など

・ちいちゃんの様子

楽しんでる。など



どんな？

たのしい。しあわせな など

家族 四 人

かげおくり

○かげおくりの後、お父さんとお母さんが言ったことを書きぬきまし

よう。

・お父さん

「今日の、記念写真だあ。」

・お母さん

「大きな記念写真だこと。」

「

家族四人ですごく
のはさいごかもし
れないと、きみし
い気持ち。

◎なぜ、「記念写真」なのでしょうが。

お父さんがせんそうに行ってしまうと、帰ってこれない

かもしれないから。

かわったこと

・次の日、お父さんがせんそうに行った。

さらに、かわったこと

いくさかはげしくなって、かげおくりができなくなった。

ふりかえり

場面二を読み取る

名前

三年

組

番

めあて

空しゅうの様子とをそうざうしよう。

いつ夏のはじめのある夜

登場人物

ちいちゃん・お兄ちゃん・お母さん

起きたこと

◎空しゅうのようすが分かる部分に線を引きましょう。(教科書)

空しゅうのようす

あつらがせがふく、炭がおいかけてくる

人がだくさんにげている、とでもいわくで命がきけん、町がなくなってしまう



かわったこと

お兄ちゃんとお母さんとはぐれて、ちいちゃんは一人ぼっちになった

◎なぜたくさんの人がいたのに、ちいちゃんはひとりぼっちなのだし

ようか。

お母さんとお兄ちゃんとはぐれてしまったから。

ふりかえり

場面三を読み取る

名前

三年 組 番

めあて

ちいちゃんの気持ちをさがそうしよう。

いつ

(次の日) 朝

場所

町、ちいちゃんの家の上など

人物

ちいちゃん、はすおかいのうちのおばさん

・ちいちゃんの話したこと(思ったこと)と、ちいちゃんの気持ち

①

「おうちのとこ。」

きくとおかあちゃんとお兄ちゃん

」

はおうちに帰っているはず。また

会いたいな。

②

「いーがお兄ちゃんとおたしのくや

」

③

(お母ちゃんとお兄ちゃん

おうちでまっていたら、二人は

はきくと帰ってくるよ

きくと来るはず。

◎なぜ、ちいちゃんはおばさんについて行かなかったのでしょうか。

お母ちゃんとお兄ちゃんが帰ってきてくれて、また会えると思っ

ていたから。

めぐりかえり

ちいちゃんのかげくり

場面四を読み取る

名前

三年

組

番

めあて

①

何日ちあど、など。子どもにそうぞうさせる。

人物

ちいちゃん

◎ちいちゃんのように

「いんぱんする足をいみしめて立ち上がる」と

◎ちいちゃんのかもちをそうぞうしよう。

体はつらいけど、家族に会いたい。みんなとかげくりをした。

①どのかげくりのちがい

<一場面>

人物 ちいちゃん・お兄ちゃん
お母さん・お父さん

地面のかげの数 4つ

空のかげの数 4つ

<四場面>

人物 ちいちゃん

地面のかげの数 1つ

空のかげの数 4つ

↓ ちいちゃんではなくってしまつたが、天国で家族に会えた。

ふりかえり

場面五を読み取るう

名前

三年

組

番

めあて

作者が場面五でつたえたいことを考えよう。

いつ

何十年後(げんだい)

場所

ちいちゃんがかけくりをした場所

ちいちゃんのすごした時代とのちがい

〈ちいちゃんの時代〉

町のようす

空しゆうがある、

家がこわされている

子どもたちのようす

家族とはなればなれ

なくなってしまう子も多い

〈五場面の時代〉

町のようす

せんそうはない、家がたくさん

子どもたちのようす

きらきら笑い声をあげて

遊んでいる

・ちいちゃんが今のようすを見たらどう思うだろう？

楽しそう、平和になってうれしうなど

ふりかえり